26.10.05

資料4

アンケート調査の実施概要・調査項目

1. アンケートの目的

市民を対象にしたアンケート調査を実施し、農林業の関わり方や課題に対する考え方等を把握する。手法はインターネット調査と市で実施するアンケート調査とする。市ホームページ等にて市が実施・回収したアンケート調査については、インターネット調査結果と合わせて、結果をまとめる。

2. アンケートの実施方法（回収数）

①インターネット調査 （リサーチ会社（ドコモ プレミアパネル）により実施）

・ 400 件の回答が集まり次第終了

②茨木市の広報媒体によるアンケート（ウェブフォームにアクセスして回答）

・ 12月発行の「広報いばらき」でのアンケートの告知（12月10日までの回答を受付）

3. アンケートの実施時期

10 月後半から12月

4. アンケートの項目（案）

●案内文

茨木市には、市街地に近い場所にも田畑が広がり、北部には人の手が入ることで守られてきた里山（昔ながらの森や田園の風景）が残っています。しかし近年は、農業や林業に携わる方の高齢化や後継者不足が進み、耕作されなくなった農地が増えたり、手入れが行き届かず荒れてしまう里山が増えたりすることが心配されています。

こうした状況を踏まえ、茨木市では、農家や林業関係者だけでなく、市民の皆様と力を合わせて茨木市の農林業を盛り上げていきたいと考えています。

このアンケートは、皆様が普段、茨木市の農業や里山とどのように関わっているか、また今後どのように関わっていきたいと思われているかをお伺いするものです。ほとんどの設問は、あてはまる番号を選んでいただく形式ですので、気軽にお答えいただけます。回答時間の目安は 10 分程度です。いただいた回答は統計的に処理し、個人が特定されることはありませんので、日頃感じておられることを率直にお聞かせください。

●設問案

【1. 茨木市の農業や里山との関わりについて】

Q1.あなたは茨木市の農業や里山と、どのような接点がありますか。（あてはまるものをすべてお選びください）

① 市内産の野菜や果物を買ったことがある
② 市内の農産物直売所やマルシェに行ったことがある
③ 家庭菜園や市民農園で野菜を育てたことがある
④ いちご狩りやさつまいも掘りなどの観光農園に行ったことがある

⑤ 農業体験(田植えや稲刈りなど)に参加したことがある
⑥ 農林業ボランティアに参加したことがある
⑦ 農業祭など農林業の催しに参加したことがある
⑧ 北部地域の農村や里山を訪れたことがある
⑨ 農業に従事している
⑩ 里山に住んでいる
⑪ その他(　　)
⑫ 特に接点はない

Q2.茨木市で、農業に関わり楽しむとしたら、どんな過ごし方をしてみたいですか。(あてはまるものそれぞれ一つお選びください)

		すでに参加している	ぜひ参加したい	参加したい	参加したいと思わない	わからない
①	茨木産の新鮮な農産物を直売所やオンラインショップで購入する	5	4	3	2	1
②	茨木市内で開催される農業イベント(マルシェ、収穫祭など)に参加する	5	4	3	2	1
③	農業をテーマにしたカフェやレストランで、茨木の恵みを味わう	5	4	3	2	1
④	茨木産の農産物を使った料理教室や加工体験(味噌、ジャム作りなど)に参加する	5	4	3	2	1
⑤	茨木産の農産物を使った食のイベント(BBQ、焼き芋大会など)に参加する	5	4	3	2	1
⑥	季節ごとの収穫体験(例:イチゴ、トマト、ミカンなど)に参加する	5	4	3	2	1
⑦	田植えや稲刈りなどの本格的な農作業体験に参加する	5	4	3	2	1
⑧	市民農園やレンタル畑を借りて、年間を通して自分で野菜を育てる	5	4	3	2	1
⑨	棚田オーナー制度(会費を払って耕作に参加し棚田の保全を行う制度)に参加する	5	4	3	2	1
⑩	農家と直接交流し、農業の魅力や苦労話を聞く	5	4	3	2	1
⑪	農業に関する知識や技術を学ぶ講座やワークショップに参加する	5	4	3	2	1
⑫	就農をめざした農業塾を受講する	5	4	3	2	1
⑬	農業ボランティアとして、農作業の手伝いや地域貢献をする	5	4	3	2	1

		すでに参加している	ぜひ参加したい	参加したい	参加したいと思わない	わからない
⑭	メインとなる仕事は別にあるが、農業を副業として行う	5	4	3	2	1
⑮	メインの仕事として、農業を行う（新規就農）	5	4	3	2	1

Q3.市内産の農産物を購入してもらうとしたら、どのようなことが必要だと思いますか。
（あてはまるものすべてお選びください）

① 普段利用するスーパーなどで買える
② 駅前やまちなかで買える。
③ 農家から直接買える場所が増える
④ どこで買えるかが簡単に分かる
⑤「市内産」だと一目で分かる表示がある
⑥ 旬の農産物や農家の情報が分かる
⑦ 価格が他府県産より安い
⑧ 品質面で他府県産より優れている
⑩ その他（　　）

Q4.都市近郊農業である本市農業は、新鮮な農産物の供給や、良好な景観形成、環境保全、農業体験の場の提供など、多様な機能を発揮しています。
　本市の農業が安定的に継続しながら、良好な都市環境の形成につながるためには、下記の農業や農地が持つ多面的な機能のうち、どの機能がより強く発揮されれば良いと思いますか。
（あてはまるものをすべてお選びください）

① 地元産の新鮮で安心な農産物を市民に供給する機能
② 農業体験・学習、交流の場を市民に提供する機能
③ 良好な景観形成により、市民に安らぎや潤いをもたらす機能
④ 都市農業に身近に触れることで農業への理解を醸成する機能
⑤ 環境保全など、水源の保全や生物の保護等に資する機能
⑥ 災害時に避難できるなど、防災空間としての機能
⑦ その他（　　）

Q5.茨木市は、「多様な活動の掛け合わせによる相乗効果」により、新たなモノやコトが生み出される「共創」のまちづくりを目指しています。多様な人たちが出会い、集い、活動が生まれることを通じて、誰もが安全安心、豊かさ幸せを実感できる「共創」のまちづくりをしていくにあたり、**「農林業と〇〇（下記選択肢）を掛け合わせた共創の取組」**のうち、参画してみたい取組を教えてください。

なお、「〇〇（下記選択肢）」には様々な掛け合わせが考えられるため、あなたが参画してみたいテーマや取組のアイデアがあれば、その他欄に回答をしてください。

① **農林業×健康・福祉**（高齢者の健康づくりや、農福連携の推進、子ども食堂など）
② **農林業×子育て・教育**（学校教育、乳幼児の子育て世代、高校・大学との連携、多様な子どもとの農業の関りなど）
③ **農林業×文化・市民活動**（食文化・歴史・観光との連携、アート・文学・デザインとの連携など）
④ **農林業×スポーツ**（サッカー・バスケットボールなどのスポーツ各種団体との連携）
⑤ **農林業×防災**（防災関連の協力体制、災害時の食の確保など）
⑥ **農林業×中心市街地**（市街地の農地との連携、市街地住民でも実施可能な農業の実現など）
⑦ **農林業×環境**（有機農法に拘った農産品生産、里山の環境保全、生物調査など）
⑧ **農林業×企業**（企業の福利厚生・社会貢献での活用など）
⑨ **農林業×新技術**（AI 等の新技術の活用や、スマート農業の推進など）
⑩ **その他**（　　）
⑪ 特になし

【2. 茨木市内の各地域の特性について】

Q6.北部地域は市街化を抑制する地域であり、余暇を楽しむ農林業施設（また取組）が少ない状況です。

中心市街地から離れた北部地域で、農林業の発展を目指し、都市住民との関わりに特化した施策を行うとしたら、どのような施策が良いと思われますか。

（あてはまるものすべてお選びください）

① 果樹などのもぎ取り園
② 地場産食材を使用した農家レストラン
③ 米・野菜の収穫などの体験イベント
④ 貸農園の設置
⑤ 都市住民による援農支援
⑥ 木工や森林浴が体験できる施設の設置
⑦ 森林・竹林伐採などの里山保全イベント
⑧ その他（　　）
⑨ 特になし

Q7.丘陵地域や南部地域は中心市街地近郊にありながら、農業が盛んな地域でもあります。
これらの地域で、更なる農業の発展を推進するにあたり、農地の活用に特化した施策を行うとしたら、どのような施策が良いと思われますか。
（あてはまるものすべてお選びください）

① 果樹などのもぎ取り園
② 地場産食材を使用した農家レストラン
③ 米・野菜の収穫などの体験イベント
④ 貸農園の設置
⑤ 都市住民による援農支援
⑥ 意欲ある農家への農地集積
⑦ 災害時に避難できるオープンスペース
⑧ その他（　　）
⑨ 特になし

Q8.中央地域は都市化が進んでいる地域である一方、生産緑地などの農地が残されている地域です。残された農地の活性化を図るため、更なる農業の発展を推進するにあたり、農地の活用に特化した施策を展開するとしたら、どのような施策が良いと思われますか。
（あてはまるものすべてお選びください）

① 果樹などのもぎ取り園
② 地場産食材を使用した農家レストランの設置
③ 米・野菜収穫などの体験イベント
④ 貸農園の設置
⑤ 都市住民による援農支援
⑥ 災害時に避難できるオープンスペース
⑦ その他（　　）
⑧ 特にない

【3. 森林に対する施策について】

Q9.森林環境を保全していくためには何が必要だと思いますか。
（あてはまるものすべてお選びください）

① 子どものうちから木に触れる機会
② 子どものうちから森を保全していくことの大切さを教える環境教育
③ 木材の利用を促進し、林業の活性化
④ 林業従事者の育成
⑤ 森林ボランティアの育成と支援
⑥ 所有者と森林組合との連携などの仕組みづくり
⑦ 自然に任せる
⑧ その他（　　）
⑨ 特になし

Q10.あなたが里山でしたいことは何ですか。
（あてはまるものすべてお選びください）

① 森林整備のボランティア活動
② ハイキング
③ 自然観察
④ 虫取り
⑤ 森林浴や森林セラピー
⑥ オリエンテーリング
⑦ 木工体験
⑧ キャンプ
⑨ その他（　　）
⑩ 特になし

Q11.茨木市では、里山保全活動ボランティア団体の拠点である里山センターが建屋の老朽化のため、2026 年4月から一般利用を停止しています。
現在、施設の建て替えを検討していますが、従来の機能（森林ボランティア拠点、木工加工・展示）に加えて、どのような施設や機能があればよいと思いますか。
（あてはまるものすべてお選びください）
※なお、新たな施設や機能は里山センターの周辺地域と連携をして整備することも含みます

① バーベキュー施設
② キャンプ場
③ 農林産物直売所
④ 飲食施設
⑤ ジビエ関連施設
⑥ コワーキングスペース
⑦ ハンモックなどの休憩施設
⑧ 農業体験施設
⑨ スポーツ施設
⑩ アスレチック施設
⑪ ハイカー用の駐車施設
⑫ その他（　　）
⑬ 特になし

●属性

あなた自身についてお伺いします。(※アンケート媒体の属性から把握が可能)

1. あなたの年代をお答えください。(あてはまるものを 1 つお選びください) ※
① 20 歳未満 ② 20 代 ③ 30 代 ④ 40 代 ⑤ 50 代 ⑥ 60 代 ⑦ 70 歳以上

2. あなたの性別をお答えください。(あてはまるものを 1 つお選びください) ※
① 男性 ② 女性 ③ その他 ④ 回答しない

3. あなたがお住まいの地域はどちらですか。(あてはまるものを 1 つお選びください)
① 北部地域 ②丘陵地域 ③中央地域 ④中心市街地 ⑤南部地域 ⑥その他



4. あなたの世帯構成についてお答えください。(あてはまるものを 1 つお選びください) ※
① 単身世帯 ② 夫婦のみの世帯 ③ 夫婦と子どもの世帯 ④ 三世代世帯 ⑤ その他

5. 茨木市の農林業や北部地域に関する情報を、主にどこから得ていますか。(あてはまるものを 1 つお選びください)
① 市の広報誌(広報いばらきなど)
② 市のホームページ
③ SNS(X・Instagram・LINE など)
④ 直売所やイベント会場の掲示・チラシ
⑤ 家族・友人・知人からの口コミ
⑥ 特に情報を得ていない